



# スポーツ・あさお

川崎市麻生区体育指導委員会

平成22年3月21日

第7号

発行責任者：体育指導委員会委員長 上西園紀年

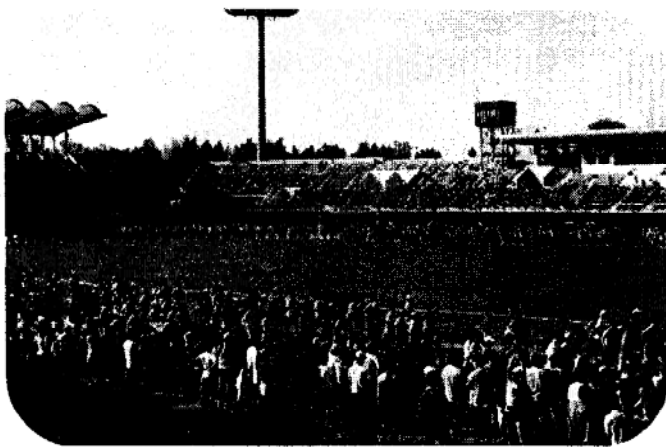
連絡先：麻生区役所地域振興課(965)-5113

〒215-8570 川崎市麻生区万福寺1の5の1

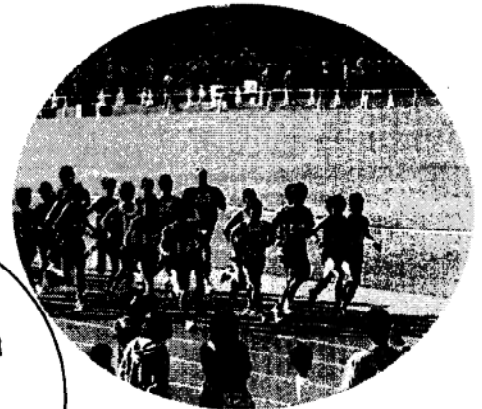
## 2009川崎国際多摩川マラソン

開催日：平成21年11月15日(日)

場所：等々力陸上競技場



今年も  
大勢の皆さんが  
張り切って走っ  
ていましたヨ～  
(^o^)/



皆さんもご家族や友人をお誘いの上、ご参加下さ～い。  
詳しくは川崎市のホームページをご覧くださいネ。

等々力競技場をスタートとする川崎国際多摩川マラソンは今年で2年目を迎えました。素晴らしい秋晴れに恵まれ、ハーフ、10キロ、3キロ、親子ペアランニングの4種目が行なわれて、川崎市内外から約5,800人もものランナーが勢ぞろい。楽しく、軽快にそれぞれのレースに臨んでいました。中でも印象的だったのは、我が麻生区在住の79歳になられる男性ランナーの方が、10キロの部に出場し、このマラソンをご自分のラストランになさっていたことです。「走り始めて45年」というタスキをかけて、所属ランニングクラブの方々に囲まれ、とても良い表情で見事に完走されました。まさに、市民ランナーのお手本です。「歩く」・「走る」は健康への第一歩、皆さんも今日からトレーニングを始めてみませんか？



### 集え！川崎へ！

競技種目は、  
ハーフの部・10kmの部・3km  
の部・親子ペアランニングの部  
があります。  
ご自分の体力に合った距離を  
お選び下さい。



子どもからお年寄りまで、無理をせず、マイペースで、気持ちいい汗を流されていきました。川崎市では、マラソンの他にも、3月半ばに駅伝を開催していますヨ。

★ 第28回 あさお区民まつり

開催日 : 平成21年10月11日(日)

場所 : 麻生区役所周辺

開店に向けて～

仕込み、頑張ろう!



今年も、体育指導委員はベーゴマ・木ゴマなどの催しと、うどん・そば・揚げたこやきの出店を行いました。昨年、出店では材料費高騰のため仕込み数量を減らした影響で皆さんにはご迷惑をお掛けましたが、今年は一昨年の数量に戻しました。



忙しい!

★ 第20回あさお区民運動会

開催日 : 平成21年10月25日(日)

場所 : 麻生水処理センター ふれあいの丘

前日の24日にグラウンドのライン引きなどの準備を行いました。夕方から降り出した雨でグラウンド状況が悪化し、第20回の区切りの運動会はやむなく中止になりました。来年、皆さんのご参加をお待ちします。

★ 第27回 あさお区歩け歩け運動

開催日 : 平成21年11月1日(日)

場所 : 王禅寺～早野方面



今年も「歩け歩け」の季節。秋晴れの下、健脚自慢の皆さまと一緒に麻生区内を楽しくウォーキング。区役所から白山、王禅寺、早野を経由して、柿生出張所までの道をあちらこちらの名所を眺めながら約13キロ歩きました。「こんな道は初めて～」、「和気あいあいと歩くと楽しいね!」などと参加者の皆さまには、満足していただけたようです。参加者は100名以上。小学5年生から最高齢は84歳までいらっしゃいました。今年も、新鮮な野菜や、美味しい納豆の素敵なお土産付きの解散となりました。来年も、またお目にかかりましょう!!



なんとこの5年間、雨天による延期や中止がありません!



すがすがしい秋晴れの日でした～来年もお待ちしています。



★ 平成21年度 神奈川県体育指導委員連合会研修会

開催日 : 平成21年11月23日(月)

場所 : 大井町総合体育館

富士山が綺麗な秋晴れの勤労感謝の日、大井町で神奈川県の体育指導委員研修会が開催されました。麻生区からは4名が参加し、ファミリーバドミントンとキンボールのニュースポーツを学んで来ました。機会を見つけて皆さんにお伝えしたいと思います。



キンボール  
楽しいスポーツです!

★ 第50回全国体育指導委員研究協議会(山口大会)

開催日 : 平成21年11月19・20日 場所 : 山口県スポーツ文化センター

「体育指導委員が創る、地域豊かなスポーツ環境」～今、体育指導委員がすべき事～をテーマに講演・分科会が開かれました。表彰式では、山田勝彦副委員長に30年勤続の功績を称え感謝状が贈られました。

★ 第20回 麻生区壮年ソフトボール大会

開催日 : 平成21年11月22日(日)

場所 : 麻生水処理センター

今年の大会は、天候不良のため延期の連続で、やっと残りの試合をこの秋に開催しました。皆さんには本当にご迷惑をお掛けしましたが、無事、記念大会を終了する事ができました。皆さんの辛抱強いご協力の賜物だと、体育指導委員一同感謝しております。来年もご参加頂きますようお願い致します。



祝・優勝～ 金程富士見!

おめでとうございます!

★ 平成21年度神奈川県女性体育指導委員研修会

開催日 : 平成22年1月16日(土)

場所 : 横浜市南スポーツセンター

横浜市南区大岡町で女性体育指導委員研修会が開催されました。麻生区から9名が参加し、2時間にわたってドッチビーを学んで来ました。



★ 平成21年度 神奈川県体育指導委員大会

開催日 : 平成22年2月7日(日) 場所 : 藤沢市民会館

神奈川県体育指導委員大会は、湘南ドルフィンズマーチングバンドのアクションや、桜美林大学の諸星裕氏による「みる・する・ささえるワールドゲームズ」の基調講演などが行われました。

★ 第20回 麻生区小学生バドミントン大会

開催日 : 平成22年2月14日(日)

場所 : 麻生スポーツセンター

優勝 : 1・2年少年(松山陽太)、少女(津留瑠奈)

3・4年少年(落合一樹)、少女(櫻井美裕)

5・6年少年(津村 翔)、少女(江川直美)

今年第20回という節目の大会でした。参加者は少年の部が20名、少女の部が53名と昨年より少女の参加数が16名増えました。当日は、真冬に戻ったように寒い1日だったにも関わらず、子どもたちは技と技のぶつかり合いや、みごとな試合のかけひきで1年間の練習の成果を発揮してくれました。来年も多くの子どもたちが参加してくれるのを待っています。



皆さん  
よく頑張  
りました!



★ 第20回 麻生区小学生バレーボール大会

開催日 : 平成22年2月21日(日)

場所 : 麻生スポーツセンター

優勝は、長沢小学校区の皆さんでした。おめでとう!!

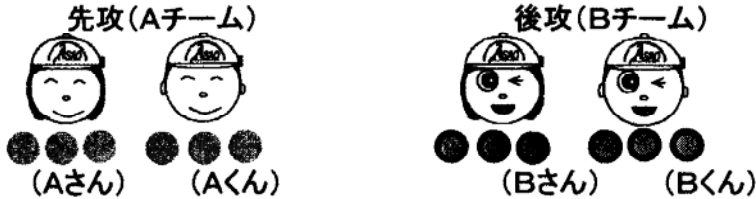


—昨年、昨年の参加数10チームに比べ、今年は7チームと少し寂しい大会となりましたが、子どもたちは元気いっぱいのプレーを披露してくれました。昨年まで2年連続少女のチームが優勝を手にしていましたが、今年は少年チームの優勝でした。来年も、みんなの飛躍した姿を見せてくれることを願っています。

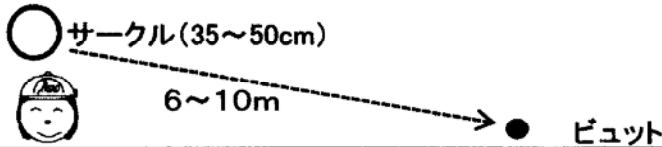
# ニュースポーツ紹介【ペタンク】

## ★ ダブルス(2人×2人)の場合

- ① 各人がボール3個を持ち、先攻・後攻をジャンケンやコイントスで決める



- ② 先攻チームの一人が競技場内に35～50cmのサークルを描き、サークル内からピュットを投げる。ピュットまでの距離は6～10m。



- ③ Aさんが第1球をピュットに向けて投げ、次いでBさんが第1球を投げる。各チーム内の投げる順番はチームで決めておく。



- ④ 第1球の結果、ピュットに遠いチームのBくんが持ち玉の第1球を投げる。



- ⑤ 上記の結果、まだBチームが遠い場合はBさんが第2球を投げる。



- ⑥ BチームのボールがAチームよりピュットに近づいた場合は、次にAくんが持ち玉の第1球を投げる。



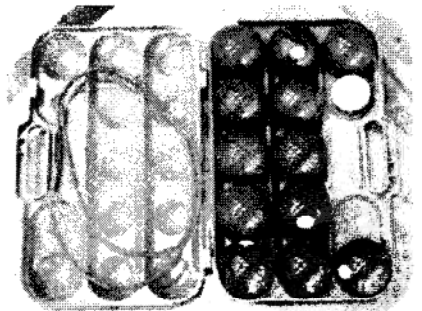
- ⑦ これらを繰り返して行き、持ち玉が無くなったチームは終了、残っているチームは全てのボールを投げ、ピュットに一番近いボールのチームに点数が加算される。

ペタンクは、南フランス発祥の球技で、名称の「ペタンク」は南フランス・プロヴァンスの方言「ピエ・タンケ(両足を揃えて)」に由来します。

地面に描いたサークルを基点として、木製や樹脂製の目標球(ピュット)に金属製・樹脂製のボール(プール)を投げ合って、相手より近づける事で得点を競うスポーツです。

ゲームにはシングルス(各人持ち玉3球)・ダブルス(各人3球)・トリプルス(各人2球)の形式があります。

競技場の広さは、幅4m・長さ15mの長方形です。左図にゲームの進行を簡単に示しました。詳細なルールや点数などについては、「日本ペタンク協会」のホームページなどを参照して下さい。



これは、室内用のペタンク用具です。

この競技は、カーリングに似ています。

周りの安全に注意して競技を行うようにして下さいネ!

## 編集後記



なんとか、広報委員任期2年を務めあげました～  
皆さん！体育指導委員の活動を知っていただけましたか？次年度からもご愛読をお願い致します。



先日、日本体育協会の公認スポーツ指導者講習に出席した折り、かながわ健康財団の方から神奈川県はガン検診率が全国の中でも下位にある事を知らされました。皆さんは、食事バランスや適度の運動などで健康維持に努められていると思いますが、年1度の健康診断でご自分の身体の現状を知りましょう！ガンは早期発見が大切です。あなたご自身のためにも、ご家族のためにもガン検診は是非受けましょうネ!

さて、広報も立ち上げから丸四年が経過しました。皆さんの応援があってこそこの広報紙です。次号から節目の5年目に入ります。今後とも何卒ご支援をよろしくお願いいたします。